



全国初のアイスホッケー中学生レフェリー

INTERVIEW 今月の「ひと」

苫小牧市立ウトナイ中学校
3年生
かぶともり あお ま
兜森 蒼磨さん (15)



選手とレフェリーの二刀流

昨年夏、全国初のアイスホッケー中学生レフェリーが苫小牧から誕生しました。ウトナイ中3年の兜森さんは、部活では全道大会に出場するチームの選手であり審判でもあります。

審判に興味を持ったのは中学生になってから。これまでに通算30試合ほど審判として笛を吹いています。現在は小学生や女子のクラブチームの試合のレフェリーを務めています。

スケートिंग力の高さが強み

幼稚園の頃、アイスホッケー選手だった父親の影響で、市内のクラブ「苫小牧JETS」に所属。楽しみ

ながら基礎を学びました。

以前体験した助っ人審判で、試合を進める側の楽しさを知ります。両親の後押しもあり、日本アイスホッケー連盟の審判の実技と座学の講習を受講。一からルールも学び直しました。

試合の時、難しいのはポジショニング。リンク全体が見える位置に素早く移動しながら、ほかのレフェリーの動きと被らないようにしなければなりません。審判は高いスケートिंग力が求められ、幼い頃から培った能力が役立っています。

どちらも高みを目指して

4月から高校生です。「これから二刀流で頑張りたい」と兜森さん

は意気込みます。高校生になると中学生の試合でも審判ができるようになります。兜森さんが審判になったことを知り、審判をやりたいと話す友人も増えました。「選手としてだけでなく、審判をやることでアイスホッケー界全体を盛り上げるきっかけになれば」と、うれしそうに話してくれました。



フェイスオフで試合を再開させる兜森さん(写真中央)

とまこまい 検 定



Q ○に当てはまる言葉は？

A コンビニ交付を利用すると○○○円で住民票の写しを取得できます

応募方法 3月31日(月)までに答え、郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、広報とまこまいへのご意見・感想を記載し、はがき(消印有効)または左記二次元コードで

宛先 ▶ 〒053-8722 旭町4-5-6 秘書広報課 広報担当
応募は1人各月1回まで。当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

前月号の答えは ▶ 市民文化ホール

抽選で5人に
マルトマほつきシチュー
プレゼント!



応募はこちら

